

自分の命は自分で守る 防災教室！

6月22日（月）に気象予報士の早田蛭さんを講師にお招きし、防災教室を行いました。参加したのは、5・6年生と中学校1～3年生です。早田さんは坂本町出身です。坂本町は山に囲まれ、球磨川が流れる町なので災害が起こりやすい場所であるという話をされました。映像では、洪水となり水につかった家や数分で増水する川、土石流などが映し出され、災害の怖さを再認識しました。そして、「避難所に持って行くもの」「避難経路」「マイタイムライン（災害時に、自分や家族の命を守るために『いつ』『何をするか』を時系列でまとめた個人の防災行動計画）」を考えました。〇〇さんが避難所に持って行くものとして家族の写真を挙げていました。「何かあったときに絶対に家族を探し出したいから」という理由です。素敵だなと思いました。

自分の命、大切な家族の命が守れるように、ご家庭でのマイタイムラインを決めてみてください。



お互いに見合った 研究授業！

研究授業とは、ある先生の授業を他の先生方が見て、授業について話し合うようなものです。普通の学校では、先生は授業を見に行き、子供達は自習になります。しかし、今回は「子供達も一緒に見たら勉強になるのではないかな」という話になり、子供達も一緒に見ることにしました。1・2年の授業を3・5・6年が見て、3年の授業を1・2・5・6年が見て、5・6年の授業を1・2・3年が見るという感じで、3時間連続の研究授業を行いました。本校は複式がありますので、自分たちで学習を進めていく場面があります。他のクラスの授業を見て学習の進め方など勉強になったのではないかと思います。常に「小規模校の強みを生かす」ことを考えています。今回の取組はまさしく小規模校の強みを生かした取組だと思います。



7月3日（金）の給食試食会、授業参観、PTA親睦レクリエーションと大変お世話になりました。役員の方々には、午前中から来校いただきレクリエーションの準備をいただきありがとうございました。子供達の楽しい思い出になりました！

校長室から(4年に1度のワールドカップなので・・・)

夜中のブラジル戦はご覧になったでしょうか？惜しくも負けましたが、日本全体が1つになって胸躍る高揚感を感じることができ、改めてスポーツの持つ偉大さを感じました。大会前、森保監督はじめ選手全員が「ワールドカップ優勝」を口にしていました。一昔前なら「何言っているの？」という感じだったと思いますが、今回はそんな空気はありませんでした。選手一人一人が海外でもまれ、個を高め、自信を付けたので言うことができた目標だと思います。試合では勇気と自信を持ちチーム一丸となって闘っていた姿が印象的でした。試合後のインタビューでは、全ての選手が悔しがり、誰かのせいにするわけでは無く、ブラジルとの差はどこにあったのかを考え、未来に向かって再スタートを切るようなコメントであったと思います。「明確な目標を持つ」→「目標に向かって努力する」→「自信を付ける」→「目標達成できずに悔しがる」→「何が足りなかったのか、次から何を努力すれば良いのか考える」→「また前を向いて努力していく」このサイクルができると、人として成長し、魅力的な人間になるのだろうと、勝手ながら考えていた次第です。また、4年後を楽しみにします。